



「ジャパン・ツーリズム・アワード」過去受賞団体一覧

第4回(2018年度)



一般社団法人雪国観光圏
地域連携DMOによる新たなブランドづくり
「真白き世界に隠された知恵に出会う」



優秀賞

(株)旅籠屋/日本初で唯一のMOTELチェーン「ファミリーロッジ旅籠屋」の
全国展開による、車社会のインフラ整備と新しい旅行スタイルの提案
(株)陣屋コネクト/陣屋コネクトの活用による旅館改革への挑戦
(株)JTB/ホノルルフェスティバル

第3回(2017年度)



株式会社 阿部長商店 南三陸ホテル観洋
「震災を風化させないための語り部バス」による
地域交流活性化の取組



優秀賞

パークホテル東京/アーティスト・イン・ホテル プロジェクト
田舎館村むらおこし推進協議会/田んぼアート
大歩危・祖谷いってみる会/秘境山間地のインバウンドへの取組
(株)JTBワールドパッケージング/ハワイにおける顧客利便性の圧倒的拡大を目的とした
「OLI'OLI」ブランドの確立

第2回(2016年度)



飛騨高山国際誘客協議会
官民協働での外国人観光客の誘致・受入



優秀賞

クラブツーリズム(株)/世界初!視覚障がい者 夢の自動車運転体験ツアーの実現
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー/沖縄県 めんそ〜れ〜沖縄観光学習教材
日本航空(株)/JALホノルルマラソン 需要創造への取組

第1回(2015年度)



瀬戸内国際芸術祭実行委員会
瀬戸内国際芸術祭の開催による地域再生の取組



部門優秀賞

(株)ジェイティービー 旅行事業本部/JTBオリジナルイベント「杜の賑わい」
東日本旅客鉄道(株)/東北6県でのデスティネーションキャンペーン実施
及び「行くぜ、東北」キャンペーン実施
熊本県/くまモンを活用した くまもとプロモーション
広島県教育委員会/異文化間協働活動推進事業~高校生海外留学1万人プロジェクト~
(株)ワールド航空サービス/モンゴルとの観光交流拡大に向けての取組
韓国観光公社/第一回「韓国観光交流拡大シンポジウム」

草間彌生
「赤かぼちゃ」
2006年
直島・宮浦港緑地
写真:青地 大輔

マレーシア政府観光局/
「Malaysia My Second Home Program」

【主催】公益社団法人 日本観光振興協会/一般社団法人 日本旅行業協会/日本政府観光局
E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004 公式ホームページ <http://t-expo.jp/biz>



JAPAN
TOURISM
AWARDS



2019年度 第5回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

＜社会の持続的発展に貢献するツーリズム＞

ツーリズムEXPOジャパン

受賞取組紹介

協賛・副賞提供:
株式会社ジェーシービー



世界にひとつ。あなたにひとつ。



2019
年度 国土交通大臣賞
株式会社 百戦錬磨

〈受賞者の言葉〉

国土交通大臣賞という名誉ある賞を頂き、誠に有難うございます。
弊社は創業以来、「明確すぎる移動目的の創造」というコーポレート・
ミッションのもと、世界標準の農泊に着目し、農泊を通じての地域活
性化に努めて参りました。現在は地域の個性溢れるユニークな宿泊施
設のプロデュースや運営、自社サイト「STAY JAPAN」等を活用した
集客を行っており、今後は、地域個性を活かした農泊をより多くの地
域に広げ、世界中の旅行者と地域の交流が活性化するように、一所懸命
に精進する所存です。



国内外の人々の交流が日々拡大する中、観光は雇用機会の創出、社会経済の活性化、相互理解の深化を実現させ、日本のみならず世界の成長戦略として位置づけられています。ツーリズムの発展には旅行業、運輸・宿泊業のみならず自治体、農林水産業、製造業、サービス業、IT関連産業など幅広い分野の産業・組織が関与しており、その裾野の拡大は目をみはるばかりです。

本アワードはツーリズムの発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果に寄与、または国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取組を表彰するものです。

審査に当たっては、観光産業関係者のみならず様々な分野の方々の視点を取り入れるため、以下に記載の日本を代表する団体や企業の方に審査に参加いただきました。取組それぞれの「先駆性・創造性」、「持続性」、「発展性」、「社会性」を審査ポイントとして活発な議論がなされました。

本アワードを通して日本のツーリズムを世界に発信する絶好の機会と捉え、日本の観光振興が観光関係の企業や団体のみで牽引されるのではなく、日本の良さが眠る「地域」を核に活性化を図ること、同時に海外各国との「双方向交流の拡大」が日本の観光振興をさらに促進させること、これらが今後のツーリズム発展に必要という共通認識のもと、各賞の選定を行いました。

審査委員



委員長
本保 芳明
国連世界観光機関
駐日事務所 代表

【ご挨拶】

5回目となるジャパン・ツーリズム・アワードは、グローバルレベルでのツーリズムの高まりを反映して、国内外から力強く未来を創る209件の取組の応募がありました。

新設の「国土交通大臣賞」に選ばれた株式会社百戦錬磨の「農泊と世界をつなぐ地域活性化サービス」は、まさに地域の観光資源を世界につなぐ、先駆的かつ発展性の高い取組と評価されました。

応募取組には、引き続き「ユニバーサルツーリズム」、「エコツーリズム」など社会性の高い取組が目立ったほか、今回は「インフラツーリズム」や「ナイトエンターテインメント」をテーマとした地域ならではの魅力の創出あるいは交流拡大の取組が増加しており、ツーリズムの質・量の両面での拡大を窺うことができました。

また、パラオ政府観光局の地球環境保全を通じて旅行者の満足度を高める取組は、国連の定める「持続可能な開発目標（SDGs）」において、ツーリズムの果たす役割を指し示し、かつ理解を深めるものとして観光庁長官賞を祝するとともに、同種の取組が内外で活発になることを期待します。

【第5回ジャパン・ツーリズム・アワード選考委員会審査委員名簿】(50音順・敬称略)

審査委員

アダム フルフォード	Fulford Enterprises, Ltd CEO
石原 義郎	株式会社航空新聞社 取締役編集長
太下 義之	独立研究者(文化政策)/独立行政法人国立美術館理事
加藤 進	国土交通省観光庁審議官
久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会 理事長 ※主催者
清野 智	独立行政法人国際観光振興機構 理事長 ※主催者
関口 和一	株式会社MM総研 代表取締役所長
田川 博己	一般社団法人日本旅行業協会 会長 ※主催者
野口 直良	日本貿易振興機構(ジェトロ)理事
浜野 京	内閣府政策参与(クールジャパン戦略担当)
本保 芳明	国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所 代表 ※審査委員長
森下 晶美	東洋大学国際観光学部国際観光学科学科教授
矢端 謙介	株式会社日本政策投資銀行地域企画部担当部長
涌井 雅之	東京都市大学特別教授・国際観光施設協会 副会長

学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード 学生審査員一覧

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部	佐藤 桃香
追手門学院大学 地域創造学部	小林 史門
桜美林大学 ビジネスマネジメント学部	扇谷 舞
大阪観光大学 観光学部	市丸 凌
大阪国際大学 国際教養学部	比嘉南々音
京都大学経営管理大学院 経営管理教育部	竹下 智
淑徳大学 経営学部	森元 朗央
首都大学東京大学院 都市環境科学研究科	大川 恭平
筑波学院大学 経営情報学部	西村 瑠夏
東洋大学 国際観光学部	岡田 夏穂
日本大学 国際関係学部	富岡 智
阪南大学 国際観光学部	大野 穂香
一橋大学 商学部	大島 万奈
山形大学 人文社会学部	深瀬 成実
立教大学 観光学部	小野寺達大
琉球大学 観光産業科学部	滝田 まな
流通経済大学 社会学部	松本 雄佑
和歌山大学 観光学部	今清水花奈
早稲田大学 商学部	迫 花香

(大学名50音順、敬称略)



国土交通大臣賞

国内・訪日領域/ビジネス部門



株式会社 百戦錬磨

「農泊」と「世界」をつなぐ 地域活性化サービス

当社の農泊の事業化への取り組みとして、2013年より国内初の農泊・民泊予約サイト「STAYJAPAN」、2018年には農泊オーナー集客支援サービス「集客コンシェルジュ」を提供開始。現在、「集客コンシェルジュ」利用者の属性は、半数以上が外国人、そのうち半分が欧米の旅行者という状況。成功事例として、直近では月に50万円もの売上を上げる農家民宿や、別荘の空き期間を宿泊者に貸し出す新たなビジネスモデルにより、毎月の管理費などの支出を賄うだけでなく、一定の利益を確保できる事例なども出てきました。地域の持続的な活動のためにはしっかり事業として捉えることが重要と考えます。

選考ポイント

訪日客をマーケットにした新しい宿泊スタイルの提案である。農家など外国人の受入に不安のある施設の課題解決にきめ細かく対応しており先駆的かつ発展性の高い取組と評価した。空き家活用や雇用拡大など地域が抱える課題解決の道を示しており、地方へのインバウンド誘致の切り札となることを期待する。



参考URL <https://stayjapan.com/>

Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award

佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター

嬉野温泉のバリアフリー化は第5段階へ ～民間救急との連携～



画像提供 民間救急らかん



UNWTO
倫理特別賞
同時受賞

福岡県糸島市の「民間救急らかん」と提携する事で、寝たきりなど重篤な病状の方でも、医師や看護師など「医療従事者」が同行し、「救急車に準じた医療行為ができる車両」での搬送を行う事で、自家用車や公共交通機関の利用が困難な方の温泉旅行が可能となりました。第1段階：必要なバリア情報を入手できる 第2段階：必要な介助器具の現地レンタルができる 第3段階：嬉野温泉の多くの旅館・ホテルにバリアフリールームが完成し、選ぶ楽しみが生まれる 第4段階：入浴介助サービス開始により、嬉野温泉まで辿り着けば、誰でも温泉入浴が可能となる 第5段階：民間救急との連携により、安全な体制での嬉野温泉への移動が可能となる。



画像提供 民間救急らかん

【選考ポイント】

医療機関と協力して、医療従事者自らが同行して、障がい者、高齢者など一人では入浴が困難な人々のサポートをして安心・安全に温泉を健康者同様に楽しむ企画を継続していることともに、社会性が極めて高いと評価した。「嬉野温泉に行けば誰でも温泉を楽しむことができる」は暖かいメッセージになっている。

参考URL

https://rakan-itoshima.com/column/ureshino_minkankyuukyuu?fbclid=IwAR0TeXOEyZifR_rdl9aBEoHk-BtWvmdH9yjSATI_Rn6Q2ICDgS5fxSaxvTQ

パラオ政府観光局

世界初の環境保護誓約「Palau Pledge パラオプレッジ(誓約)の創造」



【選考ポイント】

世界自然遺産のパラオ諸島を持つパラオ政府が自然環境保全を目的として、国外からの旅行者に自然保護を誓約させることは画期的であり、かつ環境保護教育を実施するなど、持続的発展につながる社会性そして発展性の高い取組であると評価した。

参考URL

www.palaupledge.com

世界初、入国する旅行者のパスポートに「責任ある持続可能な観光」を義務付けるため環境保護誓約をスタンプし、次世代の環境・文化保護宣言に対する署名を旅行者に求める取り組みを開始した。これはパラオに入国するすべての旅行者に、パラオの子供たちのためにパラオの環境を守るよう、入国前にこの誓約への署名を義務付けるもの。この取り組みによりパラオは、未来の世代のためにパラオの貴重な独自の文化と美しい自然環境の保護を目的に、入国に関わる法律と入国手続きを変更する世界で初めての国となる。その理念は、パラオの子どもたちが未来を守るために果たす重要な役割を理解するため、パラオの教育省の児童教育にも取り入れられる。

一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー

聖地・熊野における地域ぐるみの新しい観光モデルへの挑戦



DMO
推進特別賞
同時受賞

田辺市は、紀伊半島の熊野地方に位置する小さな都市である。巡礼の道として知られる熊野古道には、病気の治癒や回復、救済を求め、1000年以上前から巡礼者たちが訪れてきた。熊野地方は2004年、独自の文化的背景を象徴するものとして、ユネスコ世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録された。2005年、複数の市町村が合併し、新たな田辺市が誕生。合併以前からの観光協会の統合が困難であったことから、2006年、同市全体を管轄する組織として「田辺市熊野ツーリズムビューロー (TCKTB)」が設立された。当法人では、質の高い観光開発を中心とするプロジェクトを実施。海外からの観光客の受入れに向け、強固なインフラ基盤を整備している。また地域住民を対象としたワークショップや、標識・公共交通の改善、二カ国語による展示のデザインなどの取組みも実施している。マーケティングにおいては、その効果を最大限に高めることを目指す。広報活動には、観光客の訪問前から訪問後まで、その旅行サイクルの全てを対象とする総合的アプローチを採用している。当法人はサンティアゴ・デ・コンポステーラ市観光局との共同広報プロジェクトをいち早く実施。サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路と熊野古道を合わせて宣伝し、成功を収めた。巡礼路として世界遺産に登録されているのは、この2か所のみである。当法人では、この半ば隔絶された地方への観光を推進するため、コミュニティ予約システム「熊野トラベル」を開発した。同システムは地元企業向けの二カ国語ウェブサイトとして、成長を続けるオンライン市場と地元企業を効果的に結びつけている。



【選考ポイント】

2004年の世界遺産登録を契機として1000年以上にわたる巡礼の道「熊野古道」を、地元住民・企業との連携と理解のもと、保存と継承を進めながら、多くの来訪者の受入実績を持つ継続的かつ社会的な取組である。早くから外国人客の受入れ体制を整備し、若者のUターンや移住にも寄与し、地域活性化にも大きな役割を果たしている。

参考URL

<http://www.tb-kumano.jp/en/>



フィリピン観光省

ボラカイ島の復活 ツーリズムの持続的発展に向けて



世界最高の島のひとつとして名高いボラカイ島には、全世界から観光客が訪れている。2017年には観光客の数が200万人を超え、史上最高を記録した。長さ10kmほどのボラカイ島は、人間の活動がもたらした影響により、深刻な環境被害を受けた。そこで2018年、政府は環境の回復を目指し、ボラカイ島への観光客の受け入れを停止した。半年に及んだ受け入れ停止期間には、観光施設の持続可能性評価を実施し、同島の環境収容力を算出、環境保護規制を施行した。またフィリピン観光省では、観光の現場で働く数千人の職員を対象とするトレーニングも推進。観光省は他の政府機関や観光関係者との協力のもと、持続可能な観光開発の強化に向け、事業機会と社会的責任のバランスを実現するべく努力を続けている。現在では、国内の主な観光地において、このボラカイ島を出発点とする取組みが継続的に実施されている。



【選考ポイント】

半年にわたるボラカイ島への観光客受入れ停止により自然が蘇ったことで、質の高い観光を続ける道筋を作ったことが、社会の持続的発展においてツーリズムが果たす素晴らしい事例となった。オーバーツーリズムの課題解決のための好例として、きわめて社会的かつ先進的な取組として高く評価した。

参考URL

<http://www.tourism.gov.ph/>



海外領域／ビジネス部門
学生が選ぶジャパンツーリズムアワード
Japan Tourism Awards elected by students

株式会社 エイチ・アイ・エス

子ども達の未来の可能性を広げよう！ カンボジアの小学校で課外授業！ 子ども達と学び合う旅



参考URL <https://eco.his-j.com/html/cam/>

NPO法人HEROと共に2017年春に小学校を建設。その後、春夏の学生旅行シーズンにツアーを実施し、小学校を継続訪問しています。カンボジアでは体育や音楽、理科の実験などの授業がないケースが大半なため、ツアー参加者の力を合わせて課外授業を実施しています。運動会ではチームワークなどを養い、科学実験では不思議体験を通じて様々なことへ好奇心を持ってもらいます。また、2018年と2019年の3月には日本から花火師の方をお連れして、花火大会を実施。夜空に打ちあがる色とりどりの花火を初めて見た子ども達は大きな声を上げて喜び、その場は笑顔で溢れました。それは、まさに子ども達の未来の可能性が広がった瞬間です。

■選考ポイント■カンボジアにおける学校の設立や教育の支援だけでなく、日本からのお客様の訪問することで未来を創る子供たちと交流し、同時に旅行費用の一部を寄付することなどの活動を通じて国際的な社会貢献をする企業の社会性の高い姿勢を評価した。



国内・訪日領域／地域部門
DMO推進特別賞
DMO utilization special award

一般社団法人 大雪カムイミントラDMO

新たなスノーリゾートの形 都市と自然を活用した 「都市型スノーリゾート」の取組み



参考URL <https://www.taisetsu-kamui.jp/>

圏域内の各事業者との連携を重視し、ブランド形成に向けた関係者協議を開始。共通リフト券化に向けたスキー場への自動ICゲートの導入、旅ナカでの利便性向上を目的として、アクティビティセンター設置による手ぶら環境、デジタルサイネージによる情報発信、インバウンドに対応するコンシェルジュデスク環境を構築した。さらには、拠点と各スキー場をネットワーク化し2次交通を充実した他、豪州領事館と連携し外国人観光客受入の強化を目的とした人材育成等を実施し受入環境整備に注力した。多言語Wi-Fi整備による動向データ収集、DMOネットを活用したアンケート等のデータを分析し、関係者へ還元する等、観光地域づくりを推進した。

■選考ポイント■国内のスキー人口の減少の一方で外国人から人気の高い都市型スノーリゾートをDMOとして地域ブランドの形成に当たっている。行政の連携、外国人客の受入環境整備、コンテンツの充実、人材育成などモデルとしてさらなる発展性を予感させる。また、アイヌ文化の伝承なども活動を通じて行っており社会性の高い取組である。



国内・訪日領域／ビジネス部門
デジタル活用特別賞
Digital utilization special award

ユーエム・サクシード株式会社

GPS城めぐりアプリを活用した 「城おこし」プロジェクト



参考URL https://cmeg.jp/w/regional_vitalization

弊社「ニッポン城めぐり」アプリは日本全国に実在した3,000のお城をGPSを使ってめぐるスタンプラリーアプリです。自治体からの依頼などによって、アプリ内で期間・地域限定の周遊キャンペーンを実施しています。キャンペーンは当該地域のお城や歴史（人物や合戦など）を元にテーマを設定し、テーマに沿った歴史的観光スポットを設定します。そしてそれらのスポットをGPSを利用してスタンプラリー形式でめぐらせることで、全国のアプリ利用者を地域に呼び込み、周遊させ、地域活性化に貢献しています。

■選考ポイント■GPSを活用したスマホアプリで全国各地に実在した3000の城を訪れ、歴史的観光資源として楽しむことで自治体と連携し地域活性化を可能にした技術の先駆性を評価した。



デジタル活用特別賞

国内・訪日領域／ビジネス部門

SoundUD推進コンソーシアム

音のユニバーサルデザイン化社会 実現に向けた取組



参考URL <https://soundud.org/>

東京五輪を契機に、一気に国内導入するため、会員一丸となり、オールジャパン体制で準備を進めている。「音の通信」が基幹技術となるため、「音を出す側」と「音を受信する側」が両輪となって、同時に世の中に導入できるような活動を進めている。音を送信する側（空港・航空各社・鉄道・バス・商業施設・観光地・スタジアム等）は導入にむけ各施設での実証を終え、本格導入の準備を進めている。音を提供する側（メーカーやサービス事業者）は各社の機器やコンテンツに本技術の導入した製品・サービスを開発。音を受信する側（アプリ事業者、サイネージ会社）はSDKを組み込み、各ユーザーが本サービスを受信できるように機能を追加している。

■選考ポイント■「音のユニバーサルデザイン」として外国人旅行者や聴覚障がい者でも音の情報を認識できる環境整備への取組は極めて社会性が高くかつ発展性がある。多言語でのガイダンスは、災害対策や車内放送、伝統芸能の解説などの場面でも効果を発揮している。



ソフトバンク株式会社

地域イベントと連動した多言語観光 クラウドサービス「Japan2Go!」の 活用と動態分析事業



参考URL <http://japan2go.jp/>

①全国観光情報データベース及び地域観光情報データベースとの連携によるコンテンツ登録を一元化し、情報登録担当者への負荷を軽減②観光コンテンツの多言語データベース化とAPI連携により様々なメディアに情報を発信③観光クラウドで取得したGPSログによりエリア内の動態を可視化し効果測定を実施④イベントと連動することにより、観光アプリDLの促進とイベント前、イベント中、イベント後の動態を可視化⑤デジタルフォトコンテスト機能により、地域の魅力を創出し、二次利用可能なデータとして活用⑥デジタルクーポン機能を活用した回遊の促進（添付資料参照）⑦オンライン抽選機能によるダウンロードの促進（添付資料参照）

■選考ポイント■たびナカ情報の多言語展開の先駆的な取組で、スマホアプリに自治体などが観光情報を簡単に公開できる技術を活用して、地域の魅力の発信することで来訪者の増加を促す発展性を評価した。



UNWTO倫理特別賞

国内・訪日領域／ビジネス部門

有限会社 屋久島野外活動総合センター

屋久島における エコツーリズムの推進



参考URL <http://www.ynac.com/>

かつては縄文杉・宮の浦岳登山のみしか観光資源として見られていなかったが、1993年よりまだエコツアーが一般化されない時から、独自のエコツアープログラムを開発し、白雲水峡やヤクスギランドなどの森歩き、安房川のカヌーや沢登りなど川のアクティビティ、シーカヤックやダイビングによる海の魅力の発信など、エコツアーによる新たな屋久島の魅力を発信してきた。ガイド業の確立とエコツーリズムの地域への定着のため、様々な場面においてオピニオンリーダーとして取り組みを行ってきた。2018年2月には、代表が日本エコツーリズム協会の「エコツーリズム全国大会 In 屋久島」を誘致し、大会実行委員長を務めた。

■選考ポイント■世界遺産屋久島の自然を観光のコンテンツとして、体験だけでなく自然の成り立ちを学習するエコツアープログラムを四半世紀にわたり持続的に展開していることを評価した。この企画により宮浦岳や縄文杉だけが目的だった屋久島観光に新たな魅力付けを実現させた功績は大きい。



株式会社アルパイン・ツアー・サービス株式会社

東北の高校生の富士登山

【選考ポイント】東日本大震災の被災地の復興の担い手である高校生を勇気づけ、自己鍛錬を体験するため、女性登山家の故田部井淳子さんの発案で、毎年富士山登山を実施している。安全かつ意義ある企画とするため、継続して富士山登山を実施していることを評価した。

参考URL <http://junko-tabei.jp/fuji>

株式会社ロボットレストラン

インバウンド集客強化による、地域活性化

【選考ポイント】先進のテクノロジーと和太鼓のコラボによる近未来型かつ体験型のショーは先駆的で、今や訪日外国人の一番人気のナイトエンターテインメントである。地域イメージと地域ブランド強化で、名実ともに、新宿区を国際観光都市に押し上げた。

参考URL <http://www.shinjuku-robot.com>

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

Revolutionary New Drumming Entertainment in Tokyo 万華響

【選考ポイント】日本固有の芸能「和太鼓」をショーとして進化させたプログラムは、ナイトエンターテインメントとして訪日外国人客を楽しませ、日本文化への理解も促進させている。パフォーマンスの完成度は高く、洗練された演出と企画は先駆性の高い取組と評価した。

参考URL <https://mangekyo-tokyo.com/>

KANSAI ONE PASS 共同事業体

訪日外国人旅行者向け 関西統一交通パス 「KANSAI ONE PASS」の販売

【選考ポイント】訪日客が多い関西地区の公共交通機関利用時の利便性向上と同時に利用データを基にした参加各社のマーケティングに貢献している。観光施設の優待特典の提供も、周遊観光の促進にも役立っており、2025年の大阪・関西万博へ向け発展性の高い取組である。

参考URL <https://kansaionepass.com>

株式会社サムライプロデュース

十勝ナイトリバークルージング

【選考ポイント】自然豊かな夜の帯広川クルージングは斬新かつユニークで、先駆性・創造性の高い取組である。ナイトタイムに地域資源を活用して、新たな観光客を呼び込んでいることを高く評価する。周辺の施設との連携も図られており、さらなる発展が期待される。

参考URL <https://www.samuraiproduce.com/nightrivercruising>

日本航空株式会社

介護予防チャーターツアー

【選考ポイント】高齢化が進む中、アクティブシニア層は間違いなく将来の旅行需要の牽引者である。この層を対象として、専門家の参加を得て介護予防プログラムを取り入れたチャーターツアーの企画は先駆的であり、社会性が高い取組と評価された。

参考URL <https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/1158581.html>

株式会社ケアアテンド Tetto Me

バリアフリーでかなえる 南の島での特別な日

【選考ポイント】観光バリアフリー宣言をした沖縄県の石垣・八重山諸島に訪れる障がい者に、所属の看護士が企画・添乗して、障がい者の「手と目」となるユニバーサルツーリズムの取組。高齢者も含めて今後の需要拡大につながる社会性の高い取組として評価した。

参考URL <http://tettome.okinawa>

株式会社エイチ・アイ・エス

旅リハ沖縄！4日間

【選考ポイント】多くの専門家のサポートを受け、旅を諦めていた障害者の立場に立ったリハビリテーションツアーに1997年から継続的に取り組んでおり、企業の持続性のある姿勢を評価した。沖縄における新たな顧客の開拓と社会貢献を同時に実現している。

参考URL <https://www.his-barrierfree.com/other/rehabilitation-travel/>

株式会社 ANAセールス株式会社

ふれあいウォーク (2Wayツーリズム推進プロジェクト)

【選考ポイント】これまで、海外旅行企画での交流プログラムの実績を訪日客にも拡大させた。台湾からの訪日客が東日本大震災被災地の若者と交流し相互理解を進めている。さらに、日本から台湾へのツアーも実施して現地でも双方向交流を実現している持続性を評価した。

参考URL <http://www.anas.co.jp/products/service05/>

東武鉄道株式会社

ムスリム旅行者の誘致・受入れに向けた各種取組

【選考ポイント】ハラールフードや礼拝など独特の風習を持つイスラム教のお客様の受入れは喫緊の課題であり、日光や川越などエリアで連携した情報発信を通じてのプロモーションを評価する。訪日客の地方分散における鉄道会社の役割は発展的であり期待は大きい。

参考URL <https://www.tobujapantrip.com/en/muslim/>

一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

全国サイクルツーリズムプロジェクト 「ツール・ド・ニッポン」

【選考ポイント】自転車と観光は親和性が高く、訪問地の消費を生むことで、地域活性化に大きな役割を果たしている。日本各地で行われる自転車イベントは集客力があり、外国人客にも人気が高く、拡大が期待される発展性の高い取組と評価した。

参考URL <https://www.tour-de-nippon.jp>

一般社団法人アニメツーリズム協会

日本のアニメ聖地88の選定とアニメツーリズムの推進

【選考ポイント】日本文化の代表格であるアニメは、訪日客の大きな動機であり、アニメのロケ地を聖地として多くの外国人が訪れている。自治体、民間業者と連携して各地での受け入れを進めることで、聖地の指定を増やし、地域活性化につながる先駆的な取組となっている。

参考URL <https://animetourism88.com/ja/88AnimeSpot>

観光予報プラットフォーム推進協議会

観光予報プラットフォームによる地域観光関係者を対象にしたマーケティング支援

【選考ポイント】宿泊ビッグデータのマーケティング分析により、観光客動向などを予測することで観光事業者の生産性の向上や地域活性化に資する先駆的取組である。DMO推進のツールとしても活用され、オーバーツーリズムの抑止に活用など発展性の高い取組と評価した。

参考URL <https://kankouyohou.com/>

三井不動産株式会社

「水戯庵」における伝統芸能の魅力発信について

【選考ポイント】江戸文化の中心地である日本橋で、能、狂言、日本舞踊など日本の伝統芸能のパフォーマンスを食事しながら鑑賞する施設は先駆的であり、外国人客をふくめ来場者に日本文化の理解を促す機会として成長が期待される取組である。

参考URL <https://suigian.jp/>

広島県夜の魅力づくり協議会

外国人観光客向け夜神楽公演 「An Evening of Kagura」

【選考ポイント】訪日外国人客が多く訪れる広島県において、消費単価の上昇と滞在時間の延長のため、伝統芸能「広島神楽」をコンテンツとした着地型商品は、神楽の後継者作りにも寄与しており発展性の高い取組と評価した。満足度の高いナイトエンターテインメントである。

参考URL <http://www.hiroshima-kagura.com/>

株式会社フジコー

日本一長い歩行者専用吊橋 「三島スカイウォーク」

【選考ポイント】伊豆の新しい観光スポットとして誕生した「三島スカイウォーク」は、富士山、駿河湾、吊橋を同時に楽しむことができることで、初年度から100万人を集客しており、さらに地産食材を利用したレストランやイベントなどの展開で地域活性化に大きな役割を果たしていることを評価した。

参考URL <http://mishima-skywalk.jp/>

下呂市エコツーリズム推進協議会

エコツーリズムとDMOの融合 「E-DMO」の取り組み

【選考ポイント】エコツーリズム(E)を推進力としたDMO活動は、市民の積極的参加を誘発しており、地域の魅力を実感することで観光への意識向上を実現している。市民向けのファンイベントは毎年2万人を超える参加者を得ており、持続的のある取組と評価した。

参考URL <https://www.gero-spa.com/>

岩手県二戸市

地域の誇り「宝」を基盤に、次代に「つなげ」ていく「にのへ型テロワール」プロジェクト活動を展開し、「二戸ブランド」創造を進める「生産地域型観光推進のまちづくり」の取り組み。

【選考ポイント】食文化(農産物)を観光に結びつける「にのへ型テロワールプロジェクト」を27年にわたり展開している。それを支えるため戦略的宝として「二戸ブランド商品」を次々と開発し持続可能な地域活性化を実現していることを評価した。

参考URL https://www.city.ninohe.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=10121
https://www.city.ninohe.lg.jp/div/seisaku/pdf/sougoukaikaku/siryau/betten_terrorr.html
https://www.tohoku.meti.go.jp/s_cyusyo/chikiisigen/topics/150914.html
https://www.city.ninohe.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=8611

株式会社自遊人

地域ブランドを創出するメディア型ホテル「里山十帖」

【選考ポイント】衣食住を始めとした地域の魅力を発信する基地として古民家を13部屋の宿に変身させた。地域の食材をふんだんに使った料理やおもてなしで、稼働率90%超と宿泊客の評価も高い。地域活性化モデルとしてさらなる発展的の取組と評価した。

参考URL <http://www.satoyama-jujo.com/>

西日本旅客鉄道株式会社

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」と沿線地域の繋がり(島根県雲南市の事例)

【選考ポイント】ラグジュアリー列車「瑞風」の運行に対する地域の期待は大きい。立ち寄る沿線地域の消費が高まり、同時に住民の観光に対する認識も向上する相乗効果により、ハイレベルな体験を利用者に提供していることに高い評価を得た。

参考URL <https://twilightexpress-mizukaze.jp/>

株式会社 JTB

大阪の文化を乗せて走るエンターテインメントお笑いバス「こてこて号」

【選考ポイント】プロの芸人が乗り込み、大阪の魅力=笑いとし市内観光をお客様限定のバスで提供するプログラムは先駆的で、他社の商品との差別化を図りながら10年にわたり継続していることを評価した。

参考URL https://www.youtube.com/watch?v=VoD6smb_p2Y

湯田ダムビジョン推進協議会

湯田ダム(錦秋湖)を活用した地域活性化

【選考ポイント】過疎化と高齢化で人口減少地域にあるダムを観光資源として多面的に魅力化して地域活性化を目標にインフラツーリズム。町内連携施設の割引付きのダムカードの配布枚数は1万2千枚を超え、消費拡大に寄与している。

参考URL <https://biz.tabido.jp/contents/000051/>

佐賀県フィルムコミッション

海外映像作品撮影誘致をきっかけにした佐賀県の認知度向上と交流拡大策について～フィリピンにおける佐賀県の取組み～

【選考ポイント】2013年からタイの映像作品ロケ地を誘致し、知名度が高まり訪問客が増えたことから、フィリピンに対しても積極的にロケーションを行い、ロケ地誘致に成功。同国からの訪問客も増加して、消費拡大と相互理解に大きな役割を果たしていることを評価した。

参考URL <http://www.saga-fc.jp/>

愛媛県 Experience Ehime Japan

インバウンド誘客促進を核とした愛媛県におけるデジタルプロモーション改革

【選考ポイント】外国人から人気の高いデスティネーションである瀬戸内をさらに魅力ある地域にするためデジタルを活用したプロモーション施策。そこから得たデータを活用して新たな魅力の気づきにも繋げている発展性の高い取組と評価した。

参考URL <https://www.visitheimejapan.com/pref/experienceehimejapan/digest+https://www.pref.ehime.jp/h12110/31fundamentalofdigitalmarketingstrategy.html>

国立大学法人信州大学・一般社団法人 ata Alliance

バリアフリー化が困難な大自然への挑戦！『大自然を車いすユーザーとその家族や仲間と一緒に楽しむ』産学官が協働した環境創り

【選考ポイント】大自然の中でバリアフリーツアーへの取組を続けながら、ユニバーサルツーリズムについて産官学・地域が連携のもと、事前の調査・研究も十分で人材を含む環境整備もしっかりと行われている。先駆性、発展性、社会性と三拍子揃った取組である。

参考URL ユニバーサルフィールドコンシェルジュ養成講座: <https://www.usi-r.or.jp/ufc/> 一般社団法人ata Alliance: <https://www.ata.tours>

一般社団法人 山形バリアフリー観光ツアーセンター

世界一自由な空へ～つばさへ乗って行こう～

【選考ポイント】バリアフリーメスカイスポーツ観光は先駆的かつ社会性の高い取組と評価された。運営者自らが障害者であり、車椅子利用者や各種障害を持つ人たちに大空を飛ぶ夢を実現したことは意義深い。バリアフリーを通じてのインバウンド拡大にも期待する。

参考URL <https://www.youtube.com/watch?v=L00xzSjY254>

沖縄県／一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

観光危機管理体制運用図上訓練

【選考ポイント】来訪者950万人を超える沖縄で民間・自治体の連携のもと有事の体制整備および観光客の安全確保を目的として危機管理対策が継続的に実施されていることが評価された。災害時の訪日外国人客への情報提供など日本各地での展開も期待される。

参考URL <https://www.ocvb.or.jp/topics/2654>

一般社団法人せとうち観光推進機構

瀬戸内デスティネーションマーケティング

【選考ポイント】デジタルマーケティングや海外現地エージェントを対象としたプロモーション手法は先駆的かつNYタイムズの人気旅行地にも選ばれた。ファンドの立上げによる事業推進・人材育成など全国の広域連携DMO活動のモデルとして発展性を高く評価した。

参考URL <https://setouchitourism.or.jp/ja/>

国土交通省関東地方整備局八ッ場ダム工事事務所

「日本一のインフラ観光ツアー」“やんばツアーズ”

【選考ポイント】行政が作るダムを観光資源として地域活性化の目玉にしようとする取組は極めて先駆的かつ社会性が高い。ダムの完成までのプロセスを見せ、さらに近隣の主要観光地まで誘導することで周辺地域の活性化にも寄与している。完成後の企画の展開に期待が持てる。

参考URL http://www.ktr.mlit.go.jp/yanba/yanba_tours_h310401.html

本州四国連絡高速鉄道株式会社

世界最大の吊橋を観光資源として活用する取組

【選考ポイント】世界最大の明石海峡大橋をコンテンツとして、橋と高速道路という公共財を上手に活用し地域活性化に寄与するインフラツーリズムの成功例であり、その持続性の高さを評価した。普通は立ち入ることができない橋を歩くなど非日常性も強い。

参考URL <https://www.jb-honshi.co.jp/bridgeworld/>

富士箱根ゲストハウス

地域ぐるみで訪日客を歓迎する「もてなしの心」の普及・啓発活動

【選考ポイント】訪日外国人から人気の高い観光地である箱根で長年にわたり、おもてなしを通じて外国人宿泊客に日本文化の理解を促し日本ファンを続々と作っている。地元の小中学生を対象に将来のおもてなし人材育成活動もっており、持続性が極めて高い取組として評価した。

参考URL <http://www.asa21.com/book/b286865.html>

スタービレッジ阿智誘客促進協議会

スタービレッジ阿智 日本一の星空の村

【選考ポイント】阿智村は星空観光の先駆者として訪問客の志向を呼び込んでさらに高度なエンターテインメント化を果たし、ツアー参加者は2014年3万2千人から2018年13万8千人と400%の伸びを示しており、持続性と発展性が極めて高い取組として評価した。

参考URL <http://info.sva.jp/>

一般社団法人 相模海女文化運営協議会・海島遊民くらぶ(有限会社)

エコツーリズムと海女文化の融合～女性のパワーで持続可能な地域へ～

【選考ポイント】DMOとエコツアー運営会社の見事なコラボレーションのもと、海女文化をテーマとした地域独自の滞在プログラムを造成して、参加者数も堅調に増加させている。観光施設の運営などを通して、自主財源の確保にも取組み、持続性かつ発展性の高い取組として評価した。

参考URL <http://https://osatsu.org/> <http://oz-group.jp/>

首都圏外郭放水路活用協議会・東武トップツアーズ株式会社

官民協働による「首都圏外郭放水路」見学会

【選考ポイント】地下にある放水路を観光資源としてツアーに仕立てた取組は先駆的である。オンリーワンの体験を消費者に提供し災害国日本の防災意識の向上にもつながっており社会性も高く、さらに周辺観光も取り込むなど旅行会社ならではの企画となっている。

参考URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/gaikaku/>

一般社団法人マツリズム

祭りの力で人と町を元気にする取組み

【選考ポイント】日本の祭りは集客効果が高く、同時に地域の伝統文化を継承果たす役割は大きい。近年は参加者の不足が課題になっており、その課題を解決するため地域の担い手と外国人を含む観光客との交流の場を作る社会的かつ発展性の高い取組となっている。

参考URL <https://www.matsurism.com/>

国内・訪日領域／地域部門

海外領域／ビジネス部門

海外領域／地域部門

琵琶湖疎水沿線魅力創造協議会

琵琶湖疎水通船復活と疎水沿線魅力創造に向けた取り組み

【選考ポイント】京都の発展に大きな役割を果たした琵琶湖疎水を観光資源として復活させたことは地域の熱望であり、参加者も着実に増加している。官民連携をした取組は、文化財の掘り起こし・保全、雇用の創出、人材育成など地域活性化の観点で大きな役割を果たす社会的かつ発展的であると評価した。

参考URL <http://www.biwako-sosui.jp/>

株式会社 JTB

济州航空 KIX～GUM線就航誘致

【選考ポイント】北朝鮮ミサイル発射騒動から航空会社のグアム路線の撤退が続いた中で、関西空港からのチャーター便運航を実施して、济州航空の定期便の就航を実現させた。消費者およびデスティネーションのWINWINを実現し、旅行会社としての発展性の高い取組と評価した。

参考URL <https://www.jtb.co.jp/kaigai/area/guam/osa.asp>

櫻スタートラベル

車いすと杖で行くウルル&シドニー 6日間

【選考ポイント】環境面で障がい者が旅行困難な場所に周到な準備を進め、健常者・障がい者を問わずおなじ景色を楽しめる旅を実現した取組は極めて社会性が高いと評価した。障がい者目線で計画された夢を叶える取組である。

参考URL <https://travel-forward.org/>

香港政府観光局

#香港慎吾アート～ストリートアートを通じた観光資源の創造

【選考ポイント】日本で著名なタレント香取慎吾のアートをウォールアートとして香港の街なかに恒常的な展示を行うことで、日本からの来訪者を楽しませ、同時に日本への旅行の動機付けにもなる双方向交流の取組は極めて先駆的であると評価した。

参考URL <http://www.discoverhongkong.com/jp/promotions/agaru/trend/vol17.html>

株式会社ユーラシア旅行社

プライベート・バラ祭り

【選考ポイント】ブルガリアの名産「バラ」をテーマにしたツアー企画。従来のバラ祭り見学だけでなく、現地の住民との触れ合いや様々な体験プログラムを取り入れ、参加型ツアーに仕立てた企画は斬新であり、10年にわたり工夫を重ねている継続性を評価した。

参考URL <https://www.eurasia.co.jp/attraction/feature/bulgaria-rose-festival>

パリーズ株式会社

"ミレニアル世代の女性旅行者 300名がみんなで作る 海外旅行メディア【旅MUSE】によるアウトバウンド促進"

【選考ポイント】海外旅行好きな女性たちが自らの旅行体験をWEB上で紹介できる海外旅行専門のデジタルメディアの取組は創造性が高く、一方的な情報提供でなく読者同士が共有することで読者を増やしており海外旅行需要の拡大に寄与していることを評価した。

参考URL <https://tabi-muse.com/>

審査ポイント 審査を行う上での選定ポイントは次の4ポイントです

先駆性・創造性	持続性	発展性	社会性
◆ 今までにない気づきの取組で、新しいマーケットを創造しているか？ ◆ 消費者のニーズにマッチしているか？ ◆ オリジナリティにあふれているか？	◆ 継続した取組で成果を残しており、その結果、交流拡大につながっているか？ ◆ 市場環境の変化に合わせ、今後とも継続できるか？	◆ ベスト・プラクティスとして、さらなる進展・拡大を期待できるか？ ◆ 異業種との連携などさらなる進展が期待できるか？	◆ 地域の課題解決や魅力づくりに貢献しているか？ ◆ 歴史・文化遺産の保全、環境保護、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティなど持続可能な社会の実現に貢献しているか？

領域の説明

● **国内・訪日領域** …… 国内旅行および訪日外国人旅行の拡大・活性化への取組 ● **海外領域** …… 日本からの海外旅行需要の拡大・活性化への取組

各部門の説明

● **ビジネス部門(国内・訪日領域/海外領域)** …… 国内外への交流人口の拡大や、ツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した取組を表彰します。

● **地域部門(国内・訪日領域/海外領域)** …… 国・地域の観光関連団体が一体となつての魅力ある観光地域づくりや、国・地域の観光資源を活かした総合的な地域活性化に向けての取組を表彰します。